

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 ナノデス アクスウイング 3	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.480	△RG 0.054	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：アクスウイング 3

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 インチ

4 インチ

比較対照ボール：アクスウイング 2

フレアーの幅 インチ

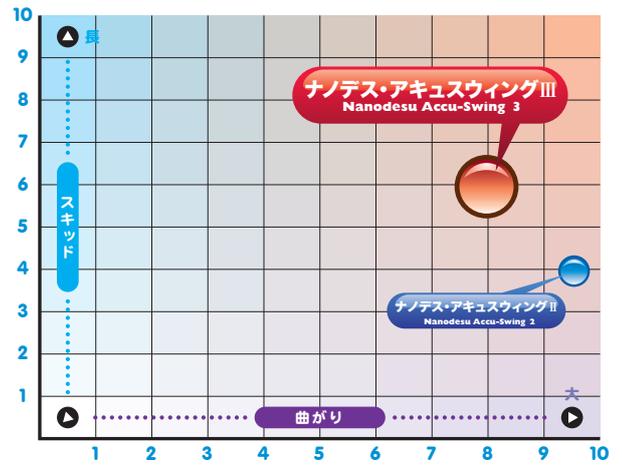
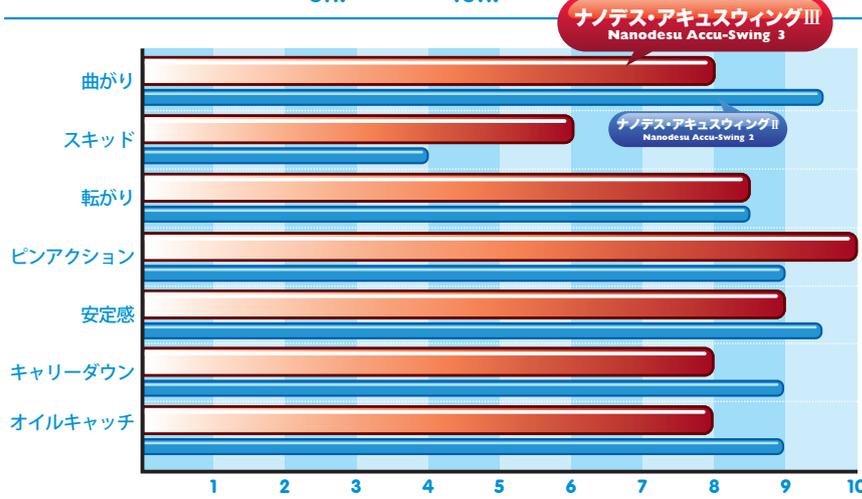
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 インチ

4 インチ



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

私たちABSボール開発チームと日本エボナイト社は現状に甘んじることなく、更なる飛躍を求め新しい取り組みを今回のACCU-SWING3に導入しました。世界初となる”7mm極薄のシェル”(平均13mm)は国産でしか出来ない”匠”な技術を取り入れ、反発係数を下げることでタップ率を軽減させること。日本オリジナルの新型コアは非常に細かい軸移動が武器で、そのコアに新しい取り組みでもあるMagnetコアを附随させ、現行の衝撃吸収コアシステム、極薄シェル、Magnetコアすべてを兼ね備えた、これ以上あり得ないというピンアクションを追求しました。米国EBONITE社が打ち出す”MagnetiteCore”方式を採用する利点は、コアの慣性の調整幅が広がり、パフォーマンス調整が多様化できること。またコアとインナーシェルとの結合をより強度に密着させることでピンアクションを向上させられること。その得られたピンアクションは”これぞナノデス”という、これからナノデスの”標準”とされる他社では追従できない領域となるでしょう。

新型カバーストックはACCU-SWINGとACCU-SWING2とちょうど間の用途になり、ポリッシュ状態でスキッドとキャッチ双方のバランスが優れたグリップ感の強いカバーを再抽出しました。このACCU-SWING3のために作られた新型のコアとカバーストックの組み合わせは面白く、フレアは普通のボールと同じように広いのですが、常にカバーとローテーションとの向きのコンタクトを取っているかのように、細かく向きを変えていきます。そのため非常に安定したオイルの捉え方ができるのが特徴で、特に曲り始めからオイルに対しての安定感を得られます。

このACCU-SWING3の開発に要した年月と費用は、類まれなる性能として皆様に体感していただけることでしょう。

特記事項

国産ならではの”匠”な技が光る、衝撃吸収コアシステム、極薄シェル、Magnetコアすべてを兼ね備えた世界初となるテクノロジーを搭載。追従を許さず、拘りつくした逸品の発売です。